

A 経済情勢等・本市の財政状況

- ・雇用・所得環境の改善等が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、米国の通商政策の影響や物価上昇等今後の景気動向に引き続き注視する必要がある。
- ・扶助費等の義務的経費の逡増、経常収支比率の上昇等、財政状況の硬直化が危惧される。
- ・健全で持続可能な財政状況を保持するため、新たな財源の確保や行政サービスの効率化に向けた取組が求められている。

B 予算編成方針

(主な留意点)

- ◆「第6次草津市総合計画」を念頭に置いた予算見積り
- ◆リーディング・プロジェクトへの戦略的な財源配分
- ◆「健幸都市」づくりの推進
- ◆「ゼロカーボンシティくさつ」実現に向けての取組
- ◆まち・ひと・しごと創生への取組
- ◆物価高騰等の影響を踏まえた予算見積り
- ◆働き方改革の推進
- ◆分権型予算制度の推進
- ◆健全財政の維持
- ◆新規歳入確保の推進
- ◆行政経営改革の推進

C シーリング（予算見積要領）

経費の種別	シーリング	備考
投資的経費	0%	上昇傾向にある資材物価や労務単価等が及ぼす影響を考慮した。
その他の経費	+2%	
扶助費 (障害者福祉費(マルク除く))	+8%	例年、多額の返還を行う事例が生じていることから、実績を踏まえた適正な見積りとする。こと。(扶助費枠内でも審査を行う場合あり。)
扶助費 (上記以外)	+2%	

D 総務部枠外協議 対象経費（予算見積要領）

- ① 財政運営計画等(重点政策マネジメント事業含む)の審査結果において別途協議が必要と判断された経費(課題整理されたものに限る)
- ② 「総務部にて枠配分外経費に区分した事業の経費」のうちで、上限額を超過する経費(超過額(令和8年度～令和11年度の総額)が1千万円以上である事業に限る)
※「健幸都市づくり・地域共生社会」、「ゼロカーボンシティくさつ」、「DX推進プロジェクト」に係る事業については、金額要件なし
※要求の可否について、必ず事前に財政課担当に相談のこと
- ③ アウトソーシングや実施手法の見直し、デジタル技術を活用した業務プロセスの効率化等により、長期的にみてトータルコストの削減につながる経費(費用対効果を検証し、削減額を提示すること)
- ④ 国、県等の制度改正に伴うものの他、国の概算要求により新たに財源の確保が見込まれる経費
- ⑤ 市長が特にやむを得ないと認める新規・拡大事業に係る経費(市長より予算審議が必要とされた事業に限る)

※要件を満たさないものや課題整理ができていないものは提出不可。

E その他留意事項等

- ・ 光熱水費・燃料費については、引き続き枠配分外経費として取り扱う。(公共施設照明LED化事業の実施に伴う減額分を見込むこと)
- ・ DXやデジタル技術の導入等に係る事業について、新たに予算要求を行う場合は、経営戦略課に事前相談を行うこと。
- ・ 今年度を実施する使用料・手数料等の見直し結果を踏まえ、見直し後の単価等を反映し、適切な見積りを行うこと。
- ・ 新財務会計システムにより予算要求を行うこと。(本稼働日:令和7年10月1日)

F スケジュール

9/22(月) 予算編成方針の公開	12/23(火) 総務部内示
10/1(水) 財務会計システム入力開始	12/25(木) 部長間調整の締切
10/27(月) 総務部枠外協議の締切	1/14(水) 理事者復活の締切
11/6(木) 要求の締切	